

平成26年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」第5回「昔の暮らしから学ぶ①」

(テーマ：生活)

- 実施日時 平成26年8月19日(火) 9時45分～16時15分
□受講者数 23名
□実施場所 深川江戸資料館
□実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局(研究所)から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課(企画調整係主事 武元)から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義・講話

(ゲストティーチャー：江東区中川船番所資料館 次長 久染健夫)

江戸時代の街並み、生活空間を再現し、その時代の生活を疑似体験できる「深川江戸資料館」の展示施設を活用して、季節に合った生活の形態、暑さ寒さをしのぐ知恵、ものを大事にし、使えなくなるまで、とことん使うリサイクルの知恵、ごみとして廃棄するものを極力少なくする生活形態など、再現された江戸庶民の生活に触れながら講師の解説を聞き、昔の暮らしを体感した。



古くなった着物は、分解して、手ぬぐいや、おしめに。

江戸時代に発達した屋台





庶民の暮らしの再現展示

【午後】

3. 環境学習プログラム「昔の暮らしから学ぶ」

(講師：特定非営利活動法人 環境学習研究会理事長 谷村春樹)

(1) 「昔の暮らしから学ぶ」プログラム紹介

昔と現在の道具や暮らし方の違いを比べることによって、子供たちの感性を磨き、「もったいない」や「道具の使い方」を工夫することによって安全でより環境に優しい生活を考える力を育てるプログラム。

- ① ろしき編
- ② 昭和エコクイズ編
- ③ エコタイムマシーン編

の3編を紹介。



講義風景

(2) 子供たちに考えるきっかけを与える手法の一つとして「川柳」作りを紹介。参加者も川柳作りに挑戦。作成した川柳を発表 (以下抜粋)

- ・江戸の町 まわる資源の 出番待ち
- ・生活の 知恵が溢れる 江戸の町
- ・土釜炊き 電子ジャーより いと美味(うま)し
- ・どこまでも 無駄なく使う 古裂(こぎれ)屋か
- ・物あふれ 忘れてしまった ありがたみ
- ・江戸ライフ まねするだけで エコライフ
- ・考えよう 蛇口の向うに 何がある？



川柳作り



壁に作った川柳を掲示し発表

(3) まとめ（質疑応答及び発表、受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者間で情報を共有した。

今回は、教育の現場で実施するうえで様々な切り口が考えられる「昔の暮らしから学ぶ」をテーマとした研修であり、家庭科や社会科などの授業にも密接に関係していることから多様な授業への試みについて意見やアイデアが出された。



各班でのまとめ



まとめ発表・情報交換

主な発表

- ・実物に触れるということが非常によかった。学校の近くでも実際に触れる施設を探して活用したい。
- ・昔と比べて「便利になった。」で終わらせず、昔の暮らしの良さに「気づかせる」ことが大切とわかった。

4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後解散